

オルガン便り vol.3 をお届けします。

◆ 世田谷平安教会のオルガンは、着々と制作されています・・・！

制作を依頼しておりますガルニエ社の工房は、フランスのアルプスに近い地方 DOBS
FRANCHE-COMTE MORTEAU にあります。オルガンケースは、フランスのこのアルプス
に近い山から切り出された‘もみの木’で作られます。柔らかく、重量の軽いモミ材は、
音響的に共鳴を助け、よく響きます。

初めは、ナラ材の計画でしたが、パイプオルガンの重量とバルコニーの強度の問題よ
り、もみの木へと変更になりました。(700 キロほど軽くなります)

もみの木は、傷つきやすいため防虫もかね、白い塗装をし、さらに大理石調の飾りをつ
けます。

その大理石調の飾りは、礼拝堂のステンドグラスの砂漠の色に近い、暖色のブラウン
のラインとしてパイプオルガンのデザインを引き締めます。また、パイプの中心部分には、
星の形をしたチャイム「ツインベルシュテウン」と鳩も付きます。この2つは、世田谷平安
教会が幼稚園と併設していることもあって、ガルニエ社さんのご好意によりつけて頂くこ
とになりました。嬉しいですね！

このオルガンは、今フランスで作られています。

8月、夏休みより、取り付け作業が開始される予定です。

クリスマスには、金の星のツインベルシュテウンが回り、パイプオルガンの音が響くこと
でしょう。こどもたちには、『本物』に触れ、音楽を通して豊かな感受性と生きる力を育て
たいと願います。パイプオルガンの響きとともに、神さまのみ言葉が世田谷平安教
会に届きますことを心より待ち望みます。

(鎌田由喜子)

パイプオルガン だより vol.3

日本基督教団 世田谷平安教会

発行 2013年 2月9日

パイプオルガン委員会

委員長 鎌田由喜子

書記 荒井せつ子

会計 徳永雪江

外部交渉 鈴木由子 竹内道子(担当役員)

広報 鎌田有由実